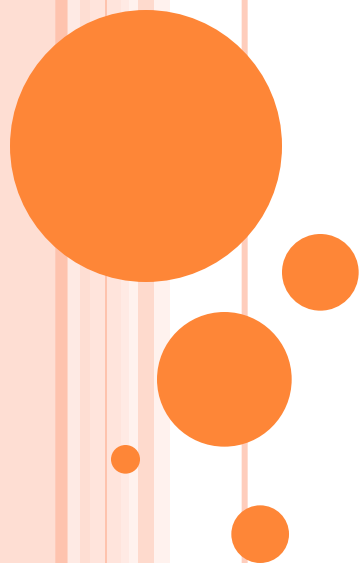


山形県職員トークライブ

～教えて先輩！～

(水産職)

令和7年8月20日



自己紹介

山形県内水面水産研究所

研究員 富樫 宥哉

入庁：令和5年度

内水面水産研究所（3年目）

出身：鶴岡市

経歴：東海大→入庁（水産職）

趣味：金魚飼育



内水面水産研究所の仕事



- ・ 魚病・防疫・治療、養殖技術開発、普及指導
- ・ 水産資源及び環境に関する調査研究、増殖技術開発

→内水面水産業振興のための仕事



アユ中間育成指導



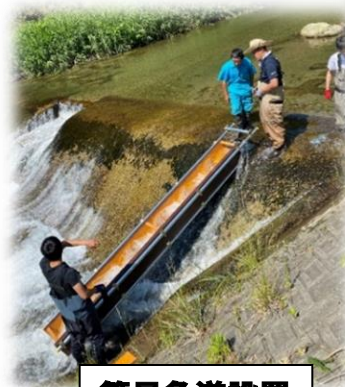
コイ種苗生産



ニジサクラ種苗生産



魚病検査



簡易魚道設置

ニジサクラ

県内初のブランドサーモン

ニジマス×サクラマスの全雌異質3倍体

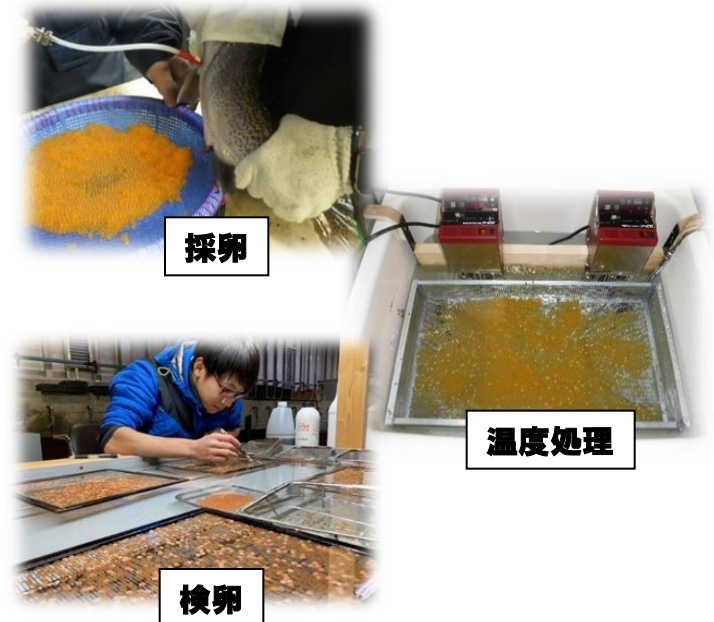


ニジサクラ

内水研で研究・開発し、令和5年に本格デビュー
現在、内水研では発眼卵を生産

ニジサクラ発眼苗の生産

- 偽オス親魚の養成
- メス親魚の養成
- 採卵・発眼までの管理



私の担当している業務

・サクラマス増殖

サクラマスは県の魚！

・河川におけるサクラマス資源の調査・研究

・コイ・フナ生産

・養殖場への種苗供給

・漁協への放流用種苗供給

など



サクラマスの稚魚密度調査



- ・ 電気ショッカーを使用
- ・ 1泊から2泊で調査
- ・ 稚魚の生息数を推定



- ・ 野生魚の再生産状況を知る
- ・ 放流の効果を知る



計測風景



サクラマス春稚魚

私の1日のスケジュール

サクラマス調査のある日（1泊2日）

1日目

8 : 3 0 業務開始
(メール確認・調査準備)

9 : 0 0 出発 (米沢市)

↓
1 2 : 0 0 到着 (鶴岡市)

お昼休憩

1 3 : 0 0 調査開始

1 7 : 1 5 調査終了

宿泊先へ移動

2日目

8 : 3 0 宿泊先から移動

9 : 0 0 調査開始

1 2 : 0 0 調査終了

お昼休憩

1 3 : 0 0 出発 (鶴岡市)

↓
1 6 : 0 0 到着 (米沢市)

(調査片付け・データ整理)

1 7 : 1 5 業務終了

印象に残っている業務

サクラマス新規研究課題の発案



現状の把握・知識・考える力
計画力・伝える力が必要！

**水産職は山形県の水産について幅広く関わる
とかできるやりがいのあるお仕事です。**

**本日、説明を聞いて水産職のお仕事のことを
少しでも興味をもってくれたら嬉しいです！**

ぜひ私たちと一緒に働きましょう！



成熟したオスのサクラマス

自己紹介

庄内総合支庁産業経済部水産振興課

技師 千葉 春輝

＜入庁後の経歴＞

令和6年

入庁

現所属に配属

出身は県外。

今年度入庁2年目で、まだまだ分からないことばかりですが日々勉強しながら職務に励んでいます。

庄内総合支庁水産振興課のお仕事（水産職）

配属先は **振興普及担当** **漁業調整担当** の2つ

振興普及担当

- 海面および内水面漁業の振興
- 漁業の担い手確保・育成
- 水産物流通・加工の振興 など



漁業調整担当

- クロマグロの資源管理
- 資源管理方針・知事管理漁獲可能量に関すること



私の担当している主な業務

・ アユ・サケのふ化、放流事業に関する技術指導

- ・ 春先には、河川に放流する遊漁用のアユの中間育成の技術指導を行う。
- ・ サケが河川に遡上する10月～1月の期間にはふ化放流事業者への技術指導を行う。



・ 庄内浜ブランド創出協議会（サワラ部会）の運営

- ・ ブランド魚である「庄内おばこサワラ」を普及するためにキャンペーンなどの様々な取り組みを行う。
- ・ 協議会の事務局として会議の運営を行う。



県職員（水産職）の仕事ってどんなもの？

○ ある 1 日の業務

- 8 : 3 0 業務開始（メール確認、今日一日すべきことの確認）
- 8 : 5 0 会議・出張の復命書の作成
- 9 : 3 0 サケ人工孵化場の技術指導のため公用車で現場へ
- 1 0 : 3 0 各孵化場で現場確認、組合員の方々と話して
技術指導やアドバイスを行う
- 1 2 : 0 0 お昼休憩
- 1 5 : 0 0 現場から職場へ戻り、復命書の作成
- 1 6 : 0 0 会議資料の作成、及び提出書類の作成
- 1 7 : 1 5 業務終了



印象に残っている業務

**新規採用職員ながら、
ベテランの組合員の方々に向けたサケの
ふ化技術講習会の
講師を務めたこと。**



県職員は色々な業務を経験でき、どの仕事もやりがいのあるお仕事です。

本日、説明を聞いて県職員のお仕事のことを少しでも知ってもらえたとしたら嬉しいです！

特に水産職の職員は全体の人数が少ない分、所属先問わず、先輩後輩職員同士で深い繋がりを持ちながら仕事ができることが、他の職種にはない利点だと思います。ぜひ私たちと一緒に働き、山形の水産業を盛り上げましょう！

